



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日  
東

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所  
コード番号 6742 URL http://www.kyosan.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 戸子台 努  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 伸之 (TEL) 045-503-8106  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	38,925	25.2	△770	—	△409	—	△326	—
29年3月期第3四半期	31,083	—	△2,595	—	△2,199	—	△1,715	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,415百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △1,281百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△5.20	—
29年3月期第3四半期	△27.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	91,600	40,758	44.5
29年3月期	86,962	40,160	46.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 40,758百万円 29年3月期 40,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	20.0	4,300	177.1	4,600	135.3	3,200	245.5	51.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社 ( — )、除外 — 社 ( — )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	62,844,251株	29年3月期	62,844,251株
30年3月期3Q	126,319株	29年3月期	123,744株
30年3月期3Q	62,719,642株	29年3月期3Q	62,722,670株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の継続等により、引き続き緩やかな景気回復基調が続いているものの、世界的に不安定な政治情勢がもたらす経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響から、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは今期が最終年度となる3ヵ年の中期事業計画において、グローバル事業展開の加速を中心とした「成長戦略の推進」および利益確保に向けた既存領域における「事業構造改革」を推進しております。

受注につきましては、信号システム事業は国内大口案件が回復し、電気機器事業は半導体およびフラットパネルディスプレイ関連市場の設備投資が活況であったことから、全体として好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。売上につきましても、信号システム事業、電気機器事業ともに好調であったことから、前年同期を大きく上回りました。

利益面につきましては、売上の増加、原価率の改善などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を大きく上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高66,962百万円（対前年同期比16,085百万円増）、売上高38,925百万円（対前年同期比7,841百万円増）、営業利益△770百万円（対前年同期比1,824百万円増）、経常利益△409百万円（対前年同期比1,790百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益△326百万円（対前年同期比1,388百万円増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

## 〔信号システム事業〕

鉄道信号システムでは、受注はJR・民営鉄道各社向けATC装置および公営鉄道向け信号設備、中国向け電子連動装置用品、インド国鉄電子連動装置などがあり、前年同期を大きく上回りました。売上はJR四国テレメータ装置、東京地下鉄銀座線ホームドア、中国向け電子連動装置用品、台湾高速鉄道および在来線信号設備などがあり、前年同期を上回りました。

道路交通システムでは、国内における交通信号制御機、交通信号灯器やマルチパターン式交通情報板の拡販と、海外における高度交通信号システム実証事業が寄与し、受注、売上ともに前年同期を上回りました。

この結果、当事業では受注高50,701百万円（対前年同期比10,365百万円増）、売上高26,207百万円（対前年同期比3,819百万円増）となりました。なお、セグメント利益は393百万円（対前年同期比782百万円増）となります。

## 〔電気機器事業〕

産業機器用電源装置はメモリー系およびロジック系半導体向けの設備投資が引き続き旺盛であり、フラットパネルディスプレイ向けの設備投資も継続したほか、通信設備用電源装置が鉄道会社向けを中心に堅調に推移したことから、受注、売上ともに前年同期を大きく上回りました。

この結果、当事業では受注高16,261百万円（対前年同期比5,719百万円増）、売上高12,718百万円（対前年同期比4,022百万円増）となりました。なお、セグメント利益は2,294百万円（対前年同期比1,460百万円増）となります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,484	4,742
受取手形及び売掛金	29,094	20,602
製品	3,340	3,359
半製品	2,971	3,517
仕掛品	13,406	22,654
原材料及び貯蔵品	265	298
繰延税金資産	1,194	1,377
その他	734	1,363
貸倒引当金	△16	△0
流動資産合計	55,475	57,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,793	9,489
その他(純額)	4,239	4,465
有形固定資産合計	14,032	13,955
無形固定資産	1,486	1,417
投資その他の資産		
投資有価証券	14,673	17,079
繰延税金資産	9	9
退職給付に係る資産	85	85
その他	1,219	1,157
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	15,967	18,311
固定資産合計	31,486	33,685
資産合計	86,962	91,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,551	10,455
電子記録債務	3,995	4,755
短期借入金	7,548	12,068
1年内返済予定の長期借入金	2,329	5,329
未払法人税等	456	210
役員賞与引当金	21	70
受注損失引当金	432	329
環境対策引当金	—	11
その他	5,839	4,720
流動負債合計	30,175	37,951
固定負債		
長期借入金	11,685	7,241
退職給付に係る負債	3,133	3,156
資産除去債務	136	137
環境対策引当金	24	24
繰延税金負債	1,402	2,145
その他	242	183
固定負債合計	16,626	12,890
負債合計	46,801	50,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	24,176	23,034
自己株式	△43	△44
株主資本合計	35,029	33,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,418	7,022
為替換算調整勘定	△53	△14
退職給付に係る調整累計額	△232	△134
その他の包括利益累計額合計	5,131	6,873
純資産合計	40,160	40,758
負債純資産合計	86,962	91,600

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	31,083	38,925
売上原価	26,017	31,035
売上総利益	5,066	7,889
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,996	1,991
賞与	536	611
役員賞与引当金繰入額	—	74
退職給付費用	256	260
減価償却費	271	266
荷造及び発送費	641	789
貸倒引当金繰入額	△36	△15
その他	3,996	4,682
販売費及び一般管理費合計	7,661	8,660
営業損失(△)	△2,595	△770
営業外収益		
受取配当金	188	213
受取保険金	160	197
受取補償金	4	2
為替差益	102	—
その他	101	92
営業外収益合計	558	505
営業外費用		
支払利息	99	110
資金調達費用	24	18
持分法による投資損失	16	0
為替差損	—	5
その他	22	10
営業外費用合計	162	144
経常損失(△)	△2,199	△409
特別利益		
固定資産売却益	75	95
ゴルフ会員権売却益	—	1
特別利益合計	75	97
特別損失		
固定資産除売却損	52	7
環境対策引当金繰入額	14	11
特別損失合計	67	19
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,191	△331
法人税等	△476	△5
四半期純損失(△)	△1,715	△326
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,715	△326

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,715	△326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	1,604
為替換算調整勘定	△0	32
退職給付に係る調整額	107	98
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	6
その他の包括利益合計	434	1,741
四半期包括利益	△1,281	1,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,281	1,415
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,191	△331
減価償却費	1,380	1,252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38	△16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	164
持分法による投資損益(△は益)	16	0
受取利息及び受取配当金	△203	△230
支払利息	99	110
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	△1
売上債権の増減額(△は増加)	9,514	8,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,232	△9,845
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,129	1,654
その他	△1,461	△1,328
小計	△2,204	△68
利息及び配当金の受取額	204	231
利息の支払額	△99	△123
法人税等の支払額	△437	△490
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,537	△450
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△322	△348
定期預金の払戻による収入	62	—
投資有価証券の取得による支出	△110	△20
関連会社株式の取得による支出	—	△68
有形固定資産の取得による支出	△2,691	△1,355
有形固定資産の売却による収入	124	108
無形固定資産の取得による支出	△373	△272
ゴルフ会員権の売却による収入	—	2
その他	6	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,303	△1,878
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,000	4,518
長期借入れによる収入	3,300	—
長期借入金の返済による支出	△1,100	△1,444
配当金の支払額	△627	△815
その他	△45	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,526	2,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△335	△98
現金及び現金同等物の期首残高	4,665	4,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,329	4,386

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	22,388	8,695	31,083	—	31,083
セグメント間の内部 売上高または振替高	4	330	335	△335	—
計	22,393	9,026	31,419	△335	31,083
セグメント利益または損失(△)	△389	833	444	△3,039	△2,595

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,039百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	8,923	1,258	10,182
II 連結売上高(百万円)	—	—	31,083
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	28.7%	4.1%	32.8%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・韓国、中国等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	26,207	12,718	38,925	—	38,925
セグメント間の内部 売上高または振替高	6	327	334	△334	—
計	26,213	13,046	39,259	△334	38,925
セグメント利益または損失(△)	393	2,294	2,687	△3,458	△770

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,458百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	12,176	349	12,526
II 連結売上高(百万円)	—	—	38,925
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	31.3%	0.9%	32.2%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾、韓国等

(2) その他・・・・・・ロシア、アメリカ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。